

みなさん「ジェネリック医薬品」を利用していますか？

ジェネリック医薬品とは？

医薬品メーカーが独自の研究・開発努力により、それまでにない原料や発想・技術で作り出した薬「新薬」が、20年から25年の特許期間が過ぎて特許切れとなり、開発メーカー以外の会社でも、同じ成分で薬をつくる事が可能になります。これが、ジェネリック医薬品です。

ジェネリック医薬品は、原則新薬と同一有効成分が同一量含まれ、同一の経路から投与され、同一の用法・用量で用いられ、同一の効能・効果を持った薬をいいます。

つまり、新薬と同一な状態のまま安価で、購入できるものが「ジェネリック医薬品」となります。

安く購入できて大丈夫なのか？

安すぎて効能・効果は同じといえるのか？とか副作用はないか？とか品質に問題はないか？とかいろいろ疑問に思うかもしれません。

しかし、安い理由として・・・

- ① 新薬をつくる時に必要な、莫大な研究・開発コストが必要ないため
- ② 開発から販売までの期間が、新薬に比べ圧倒的に短いため
- ③ 複数のメーカーで製造されるため、競争原理も働いてさらに安くなるため

といった理由が挙げられます。

新薬に比べてどのくらい安くなるのか？

日本では、薬価は国が決める制度になっており、その政府の薬価基準によりジェネリック医薬品は、市場に登場する段階では通常、新薬の70%程度の価格からスタートすると決められています。

その後薬価は定期的に改定されます。したがって、ジェネリック医薬品の中には新薬の半分、もしくはそれ以下の価格のクスリもめずらしくありません。

この機会にジェネリック医薬品を利用してみてはいかがですか？

雇っている病院や調剤薬局によりますが、この機会にもう一度「ジェネリック医薬品」の存在を見直してみてもいかがですか？

生活習慣病に雇っている場合、特に糖尿病・高血圧症・高脂血症など、長期の治療に雇っている方には、是非ジェネリック医薬品での治療をお勧めしたいと思います。

月々にしてみれば、少額の差額だと思っても、1年・2年の経過で差額を総額すると、万単位で消費金額が浮いている可能性もあります。

最後に、みなさんが薬を飲まなくても良い健康な体になれることを願っています。